

更別村まち・ひと・しごと創生総合戦略（人口ビジョン・総合戦略）の全体像（第3版）

第1章 人口ビジョン

中長期展望
(2060年視野)

【人口の減少傾向の抑制】

◎2060年に国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」と記す）推計に比較して約470人の人口増を目指します。

・村推計による
2060年の人口見通し
2,696人
(社人研推計 2,217人)

(参考)
○村推計による
2040年の人口見通し
3,016人
(社人研推計 2,789人)

第2章 総合戦略（平成27年度～平成31年度の5か年）

基本目標

国の政策分野1
「地方における安定した雇用を創出する」

1. 産業振興と雇用の場の創出によりにぎわいと元気をつくります。

- 数値目標
- ・雇用創出数：5年間で20人
- ・就業者数：5年間で20人

国の政策分野2
「地方への新しい人の流れをつくる」

2. 笑顔があふれる新たな人の流れをつくります。

- 数値目標
- ・転入者数 5年間で80人増加
- ・転出者数 5年間で50人減少

国の政策分野3
「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

3. 若い世代の希望をかなえ安心できる子育て環境をつくります。

- 数値目標
- ・合計特殊出生率 5年後に0.1ポイント増
- ・出生数 5年間で120人

国の政策分野4
「時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」

4. 豊かな暮らしを営む地域をつくります。

- 数値目標
- ・持家数の増加 5年間で30戸
- ・空き家の数 5年間で3件減少

○講ずべき施策に関する基本的方向 ・重要業績評価指標（KPI※）

施策1 産業・雇用の創出

- 農業を体験する仕組みづくり、新規就農を目指す研修生を受け入れる仕組みづくりの検討を進めます。
- 商工業における担い手の確保の仕組みづくりについて調査検討を進めます。
- 起業家等の支援を行い、新たな事業所の設置による雇用の創出により地域の活性化を図ります。
- 新たな特産品の研究開発、さらに販路拡大を支援し村内事業者の取組みの活性化を促し産業の振興を図ります。
- 遊休施設を活用し、多様な知識経験を有する人材の還流を進め、ICT技術の推進や地域での異業種間交流により「しごと」創出に結びつく取組みを推進します。

- ・新規開業件数：5年間で2事業所
- ・特産品開発件数：5年間で5件
- ・食品製造業従業員数：120名（H31）
- ・特産品売上高：3,000万円（H31）

施策2 多様な就労環境の創出

- 村内における求人情報について、情報の提供等の仕組みの構築について調査研究を行います。
- 地元でできるものはできるだけ地元を活用し、村内で経済が循環するような取組を実施するよう努めます。
- 障がい者の自立支援に向けた就労施設の誘致に向けた取組みを進めます。

- ・新規雇用者：5年間で10人
- ・障がい者就労施設の誘致：5年間で1事業所

施策1 人の流れの創出

- 各種移住促進施策を推進し、首都圏からの移住を促進します。
- 定住人口の増加を図ることから、住宅建設者に対して支援を行います。
- 定住者の住宅環境を充実することから、民間活力による賃貸住宅の建設を支援し定住・移住の増加に努めます。
- 空港、高規格道路等のアクセスの良さと災害が少ないという地理的条件等を積極的にPRし移住・交流人口の増加に努めます。
- 「十勝さらべつ熱中小学校」に関わる首都圏の経営者や研究者はじめ「外からの」人の流れをつくり、交流促進から移住定住の拡充に努めます。

- ・住宅建設事業申請件数：5年間で50件
- ・年間観光入込数：62,200人（H31）
- ・リフォーム支援申請件数：5年間で25件
- ・「十勝さらべつ熱中小学校」交流人口200人（H31）
- ・更別村地域創造複合施設の利用者数：2,000人（H31）

施策1 安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実

- 男女の出会いの場をつくり、家庭を持ちたい男女が結婚に至るまでを支援する環境づくりに取り組みます。
- 妊娠・出産・子育てに係る身体的、精神的、経済的負担が軽減されるよう、不妊治療や母子保健事業の充実を図ります。
- 子育て世代の経済的な負担の軽減を図ることから、保育料の軽減や児童医療費の助成の拡大について取組みを進めます。

- ・婚姻件数：5年間で70件
- ・不妊治療支援件数 5年間で10件

施策1 安心な暮らしの確保

- 上更別地域の活性化を図ることから、地域の活性化協議会の活動に支援を行い協働店舗の経営の健全化を図ります。
- 空き家等の利活用や、空き家等の物件に関する調査とデータベース化を行い円滑な利活用を促進します。
- いつまでも住み続けたいまちを目指し、良好な景観づくりを行い、生活しやすい環境づくりを進めます。
- 十勝定住自立圏における地域間連携、一部事務組合等それぞれの枠組みによる広域的な連携を推進します。
- 「十勝さらべつ熱中小学校」による多様な専門的な講師陣を駆使し、地域課題を解決する人材を育成するとともに、事業における関連市町との連携により地方創生を推進します。

- ・空き地・空き家バンクの利用：5年間で3件成立
- ・宅地分譲地の整備：5年間で1か所

主な具体的な取組み

- 新たな産業の担い手確保
 - ・新規就農者育成に対する取組みの整備・推進
 - ・商工業担い手育成確保に向けた取組みの検討・推進
- 企業誘致の取組み
 - ・企業振興促進条例に基づく取組みを進めると共に、誘致に向けた環境整備について検討を進める。
- 創業支援の推進
 - ・ふるさと創生基金事業による助成
- 特産品開発普及の推進
 - ・地場産品販売支援事業による調査検討
 - ・更別農業高校と地元企業の特産品開発事業の推進
 - ・「十勝さらべつ熱中小学校」事業による特産品開発の推進
- 特産品の消費拡大の推進
 - ・ふるさと納税の取組みの拡充
 - ・「十勝さらべつ熱中小学校」事業による特産品販売強化
- 村内就労への支援
 - ・村内求人情報発信事業の検討、実施
 - ・地元雇用促進事業の推進
- 障がい者の就労環境の創出
 - ・障がい者就労支援の場づくりに努める
- ICTを活用した就労の支援
 - ・テレワーク導入企業の誘致の検討を進める
 - ・「十勝さらべつ熱中小学校」事業によるテレワーク環境の整備
- 女性の雇用環境改善の推進
 - ・既存事業所への情報発信の強化

- 移住定住の推進
 - ・住居確保に向けた住宅建設補助事業の推進
 - ・定住移住に向けた住宅リフォーム制度の検討・整備
 - ・賃貸住宅建設促進事業の推進
- 交流人口の増加
 - ・村のPRを積極的に行い広く周知を図る
 - ・「十勝さらべつ熱中小学校」事業による人材交流の促進
 - ・更別村地域創造複合施設整備による交流人口の増加

- 結婚に向けた支援の取組み
 - ・出会いサポート事業の検討・実践
- 子育て世帯における支援の取組み
 - ・保育料（幼稚園・保育所）の負担軽減
 - ・児童医療費助成事業の拡充
 - ・病児保育事業の設置検討・実施
 - ・子育て応援の取組み（宣言制定・担当課設置・情報周知）の推進
 - ・学校給食費の負担軽減
 - ・子育てサロンの実施・周知
 - ・ひとり親家庭への支援の取組み
- 妊娠・出産における支援の取組み
 - ・不妊治療支援の拡充

- 快適なまちづくりへの取組み
 - ・上更別地域活性化事業
 - ・空き地・空き家バンク制度の実施
 - ・景観に配慮したまちづくりに努める
 - ・移動販売・宅配サービス事業の実施に向けての調査検討
 - ・街を形成する宅地分譲の実施
- 健康で安心して暮らせるまちづくり
 - ・予防接種支援事業
- 村を支える人材育成の実施
 - ・児童生徒の学習環境についての情報発信
 - ・まち・ひと・しごと講演会の開催
 - ・村づくりにおける村内団体との連携構築
 - ・子供たちや若者が村の「もの」や「こと」を知る機会の確保
 - ・「十勝さらべつ熱中小学校」事業による人材育成の推進
- 広域連携の推進
 - ・十勝定住自立圏や近隣市町村との連携強化に努める
 - ・関連市町村との広域行政事業の推進
 - ・「十勝さらべつ熱中小学校」事業による地方創生の推進

※KPI(Key Performance Indicator) 施策ごとの達成度合いを計る定量的な指標をいう。